

「諏訪湖の水草対策」ワーキンググループの設置について

諏訪地域振興局環境課

1 目 的

これまで生態系への影響を考慮しつつ、刈取船や手作業によるヒシ除去作業を行ってきた。ヒシの繁茂面積は、隔年周期で増減を繰り返しながら減少していたが、平成 30 年度以降は微増が続いている。また、クロモの繁茂によりボートの運航に支障を来すなど新たな問題も生じている。諏訪湖創生ビジョン（令和 5 年 3 月改定）において、ヒシ除去の新たな仕組みづくりを検討し、今後 5 年間でヒシ除去量倍増を目指すこととしており、手法や実施場所等の検討を行う必要があるほか、ヒシ以外の水草の対策についても議論する必要があることから、諏訪湖創生ビジョン推進会議にワーキンググループを設置し、検討、合意形成を図る。

【ヒシ繁茂のマイナス面】

貧酸素化を招く、船の運航の支障、景観を損ねる

【ヒシ繁茂のプラス面】

栄養塩類を水中から吸収、二酸化炭素の固定



生態系のバランス、繁茂場所の状況、除去の目的を明確にし、計画的に除去

（参考）諏訪湖創生ビジョン（令和 5 年 3 月改定）

5.1 水質保全 5.1.3 ヒシの大量繁茂対策の実施 今後 5 年間の取組（県・流域市町村・関係団体・住民）
生態系のバランスやヒシの繁茂場所の利活用の状況を考慮し、水質浄化、貧酸素対策、生態系保全及び利活用等の目的を明確にした上で、重点的にヒシを除去するエリアを設定するとともに、官民連携で進めるための新たな仕組みづくりを検討し、今後 5 年間でヒシ除去量を倍増することを目指します。

2 概 要

(1) ワーキンググループメンバー

諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員（流域市町村、県（地域振興局、建設事務所、水産試験場）他）

※事務局：諏訪湖クラブ、地域振興局環境課

(2) 活動内容

- ・ 先行事例の調査、諏訪湖におけるヒシ除去の試行
- ・ 調査・試行結果のとりまとめ及び共有
- ・ ヒシ除去量倍増に向けた手法、実施か所、連携方法（分担）の検討 等

3 今後のスケジュール（予定）（令和 5 年度）

5 月 25 日 第 10 回諏訪湖創生ビジョン推進会議にてワーキンググループ設置（予定）

ワーキンググループの活動		
令和 5 年 5 月	先行事例調査	試行の実施団体募集
6 月		ヒシ刈取試行
9 月	結果のとりまとめ、分析	↓
10 月～2 月	ワーキンググループで検討	
令和 6 年 4 月～	↓	刈取後の効果調査